

651
18.4.25

大阪教組ニュース

発行所=大阪府教職員組合
(日教組)/〒543-0021大阪市
天王寺区東高津町7-11大阪
府教育会館4階412号/TEL
06-6765-1558 FAX06-6765-
1268/発行責任者=石田精三
/編集責任者=韓秀根

第195回 定期大会

日時：5月25日(金)
午後1時30分(開場)
午後2時(開会)
場所：たかつガーデン 8階たかつ
「教え子を再び戦場に送るな」

6・30 大阪教組教研全体会



稲垣えみ子さん(元朝日新聞記者)

私の「セルフ革命」 成長しない時代をハッピーに生き抜く

今年度の大阪教組教研全体会は6月30日にエルシアターで開催する。今年の全体会講師には稲垣えみ子さんをお招きする。

稲垣えみ子さんは3・11の原発事故をきっかけに「個人的脱原発計画」生活を始めた。現在電気代は月200円以下だと言う。稲垣さんは「あつたら便利」なものへ依存している今を考え直し、依存から脱却すること。そして、自分の頭で考えていくことで、希望をみつけることができ

ようこそ新転任者を歓迎 集い語り合いつながりを



教研やシンポジウムなどスライドショーで豊中市教組の1年間のとりくみを紹介する町田さん

「子どもの話を共感的に聴くことが大切」と語る磯野さん(写真は3月3日に開催した授業と集団づくりシンポジウムの時のもの)

4月、新転任者を誘っての歓迎会や学習会が行われている。組合、分会として新転任者を歓迎し、顔を合わせて語り合うこと、学びあうことを大切に4月をスタートした単組のとりくみの一部を紹介する。

ようこそ豊中へ 2018 歓迎の集い

豊中市教組は4月7日、新転任歓迎会を開催し、約60人が参加した。例年、執行部が手づくりのあたたかい歓迎の集いを行っている。冒頭、市長や教育委員会、校長会の代表から「ようこそ豊中へ」と歓迎のあいさつをいただいた。その後、青年部常任によるレクリエーションを行い、ゲームを通して参加者同士が楽しく交流した後、町田書記次長が教研など豊中教組の1年間のとりくみをスライドショーで紹介した。

参加者からは、「不安しかなかったが、少し安心できた」「他校の方とお話でき、ほっとできた」などの感想があった。今後も、「学び つながり 支えあう」を合い言葉に、組合の

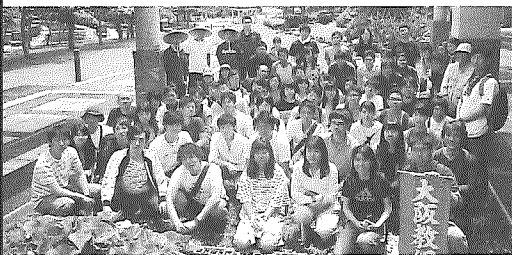
組織拡大につなげていきたい。

ここから始まる
学級づくり

「子どもとつながり、子どもをつなぐ」

枚方市教組は4月6日、磯野雅治さん(元関西大学非常勤講師)を講師に学級づくりについての学習会を開催。磯野さんは「子どもの話を共感的に聴く」という姿勢の大切さを語った。子どもの言葉から、生活背景にまで思いを巡らせ、子どもをまるごと受け止めることで、初めて子どもとの「つながり」ができる。始業式を控え、活力となる話を聞ける学習会だった。磯野さんは、学級づくりを応援する「学級づくりサポート・ステーション」を主宰。メールでの相談を無料で行っている。(メールアドレス：gakyudukuri.ss@gmail.com)

大阪教組 組合員100人 増やそう運動展開中!

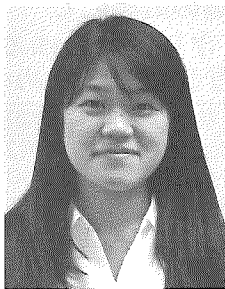


自分たちの未来を
他人まかせにしない。
だから組合

新役員あいさつ

中央執行委員
(栄養教職員部)

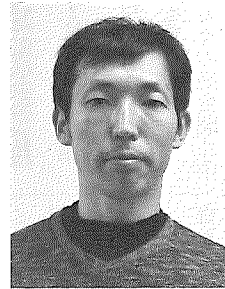
小沢 恵



栄養教職員部より中央執行委員に選出されました、出身は泉南地区教組です。栄養教職員の配置基準は1校に1名ではありません。またセンター方式の給食では6000人以上ならどれだけ多くても3名という厳しい配置基準です。その上、各校では学校給食を生きた教材として実施していくとともに、食に関する指導、食物アレルギーへの対応、合理的配慮など、様々な役割が求められています。また、市町村によって大規模センターや親子給食、デリバリー方式の中学校給食など課題や悩みも様々です。これらの課題が改善していくよう、全教職員や教育行政に現状を知らせていきたいと思っています。よろしくお願いします。

中央執行委員
(青年部)

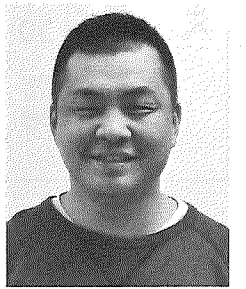
坂口 解人



昨年度まで豊中市の青年部長を2年間しました。職場だけでなく、大阪府内の同年代の教職員の方や、幅広い年代の方とのつながりを大阪教組の活動を通して実感することができました。自分が職場などで苦しい立場になったときに、支えてくれたのは、同じ職場の組合員の方々でした。こうした支え合いができるのも組合活動の強みだと感じることができました。今年度は、今までの青年部活動の中で大事にしてきたことを、次の新しい世代につなげていきたいと思っています。職場の悩み、目の前の子どもたちについて知り合った人と深く語り合う機会を大事にしながら、ともに学び合うことの大切さを、多くの青年部のみなさんへ伝えていきたいです。

中央執行委員
(組織、青年部)

小濱 鉄也



大阪市では分会会議が校内ではできず、同じ現場にいる組合員ですら、なかなかつながりを持てなくなりつつあります。なんとか分会会議を開こうとしても17時以降、学校外の場所となると、メンバーがなかなか集まらず、うまくつながりを保てない状況です。教職員の多忙化が後押しし、どんどん職員間の関係は希薄化しています。じっくり話し合う場がない環境では、よりよい教育を進めていくことは困難です。そんな教職員間の関係を改善していくのは組合活動しかないと思います。今回、中央執行委員として、少しでも組合員がつながる企画やとりくみをしていきたいです。よろしくお願いします。

教え子を再び戦場に送るな

日教組 ミャンマーへ 音楽教育の支援に大阪から参加



―音ずつりコーダーの指使いを確かめながら練習した

日教組が16年度よりはじめたミャンマーでの音楽教育支援。18年3月には大阪教組から17年度の全国教研の音楽の分科会で報告した中田友貴さん(豊中)が参加した。

子どもたちの豊かな心を育てる音楽教育を

中田 友貴(豊中)

初めてのミャンマー、初めての国際支援に胸を躍らせ、鹿児島県教組の野口さんとともに参加。日教組の組合員であるということは、

時間、さらにバスに揺られること3時間、チン州デラムというインドに近い山岳部の町で音楽教育支援を行った。参加者は教員26人

と子どもたち、関係者合わせて約50人。音楽教育の楽しさを伝えようと、まずは体が楽器になる歌やボディパーカッションと一緒に楽しんだ。その後、初めてのリコーダーや鍵盤ハーモニカに目を輝かせながらチャレンジ。教員の皆さんも子どもたちも大変熱心だった。詰め込み教育に対して情熱教育を」と始まったばかりの音楽科が、いつの間にか知識や技能ばかりを追いつめるようなことにならないよう、子どもたちの豊かな心を育てる教科であるようにとメッセージを織り交ぜながら、誰もが楽しく、分り、でき、感じる授業をイメージして指導を行った。

また、同じく4月22日に投票された泉南市の市長選挙では、大阪教組が推薦した白岩正三さんは、善戦したが当選を果たすことはできなかった。

選挙では、大阪教組が推薦した竹中いさとさんが、2回目の当選を果たした。

豊中市長選挙 長内さんが当選



当選を決め、浅利豊中市市長ら支持者と万歳をする長内さん

任期満了に伴う豊中市の市長選挙が4月15日に告示され、4月22日に投票された。

大阪教組が推薦した長内しげきさんは「実現する力」をキャッチフレーズに市長選を戦った。「教育と福祉に関する施策は、今後の豊中にとって最重要事項」とこれまでの市政を引き継ぎ発展させる姿勢を示し、初当選を果たした。同日投票の豊中市の市議会議員補欠選挙では、大阪教組が推薦した白岩正三さんは、善戦したが当選を果たすことはできなかった。

また、同じく4月22日に投票された泉南市の市長選挙では、大阪教組が推薦した竹中いさとさんが、2回目の当選を果たした。

9条改憲NO! 雨の中2000人が声をあげる



雨の中「捏造、隠ぺい、改ざんを許さない」と声をあげた

安倍9条改憲NO!

憲法を生かす全国統一署名にとりくもう

憲法と民主主義を蔑ろにする安倍政権の暴走は続いている。「特定秘密保護法」「安保関連法」「改正組織犯

罪処罰法(共謀罪法)」を強行成立、沖縄の民意を無視した辺野古新基地建設強行など、戦争のできる国づく

くりへと突きすすんでいる。9月に発足した「安倍9条改憲NO!全国市民アクション」では、署名運動を通じて改憲反対の世論を拡げ国会に届けることを目的に「安倍9条改憲NO!憲法を生かす全国統一署名」を全国展開している。

大阪教組は、「教員を再び戦場に送るな」のスローガンの下、憲法理念を否定するあらゆる動きを許さず、改憲阻止にむけた大きなうねりをつくりだしていくため、日教組、平和フォーラムとともに署名にとり

授業と集団づくり連続講座

今年度も開催

大阪教育総研と大阪教組は今年度も授業と集団づくり連続講座を開催する。昨年度末には、「私からはじめよう人権教育」と題して、土田光子さん、園田雅春さん、磯野雅治さんをお招きし、人権教育についてシンポジウムを行い約100人が参加した。

「子どもと出会うには力量がいる」講師の方々の話を聞く中で、今まで子どもたちと出会えていたのだらうか、本当の意味で向き合えているのか、考えていたのだらうかと、考えさせられた。シンポジウムで学んだことが、感じたことを通して、今年度も開催する。

本年度の第一回は、池田賢市さん(中央大学)が講師。池田さんは「道徳」というものをどうとらえるのかという基本的な話をうかがった後、実際に教材を使った授業の進め方についてのワークとどのよう

での自分の実践を振り返ることができたという、参加者のみなさんからの声をたくさん聞くことができ、とても有意義な時間となった。大阪ではこれまで解放教育や人権教育を大事にしてきた。一方、その中心を担ってきた教職員たちが大量に退職し、新たな教職員が増え続けた。大事にしていた「大阪の教育」を継承・発展していくため、今年度も引き続き教育現場で実践してきた講師陣を招いて学習会を開催する。

本年度の第一回は、池田賢市さん(中央大学)が講師。池田さんは「道徳」というものをどうとらえるのかという基本的な話をうかがった後、実際に教材を使った授業の進め方についてのワークとどのよう

に「評価」するかについて考える学習会だ。小学校で道徳が特別の教科となり、現場では、授業や評価についての校内研修が慌ただしく行われている。子どもたちの「内心」に介入しない、「道徳」の授業について、改めて考える機会としたい。

米のSOPA、4月に起きた店員の黒人に対する差別事件。来月、米の全ての直営店を一時閉鎖し、店員に対して研修をする。日本は明らかにセクハラ発言を否定し、被害者は名乗り出るよう要請。これが官僚のトップ・大臣だとは。漢字の読み間違

すべては子どもたちのために